



度会町議会 だより

広報委員
委員長 舟瀬勝
副委員長 長谷川多一
委員 貞森義和
中西久博
大野原徳
大西徹



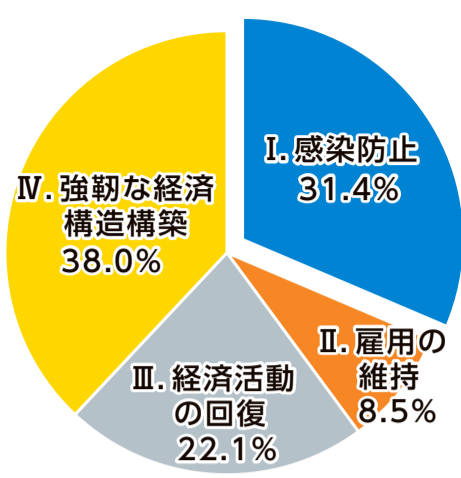
令和2年 第4回定例会を開催 令和2年12月8日～18日

○本定例会では、補正予算として、9,170万6千円の追加が提案され、予算総額56億8,825万8千円を承認いたしました。

今回の定例会において、新型コロナウイルス感染症対応「地方創生臨時交付金事業」関連で実施した74の事業(約4億4千万円)について概要報告がありました。

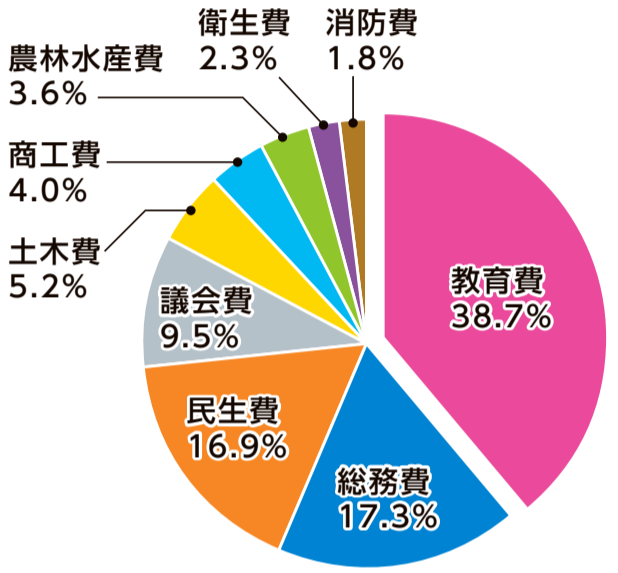
●対象事業別区分

費目	事業額(千円)	割合
I. 感染防止	138,510	31.4%
II. 雇用の維持	37,598	8.5%
III. 経済活動の回復	97,312	22.1%
IV. 強靱な経済構造構築	167,155	38.0%



●事業費別区分

費目	事業額(千円)	割合
教育費	170,472	38.7%
総務費	76,284	17.3%
民生費	74,556	16.9%
議会費	42,200	9.5%
土木費	22,859	5.2%
商工費	17,863	4.0%
農林水産費	15,989	3.6%
衛生費	12,584	2.3%
消防費	7,768	1.8%



視察

宮リバー度会ソーラーパーク

宮リバー度会ソーラーパークにて工事の進捗状況を含めた視察を行い、「粉塵防止対策の徹底」と近隣住民の方々の日常生活における騒音等の苦情に対しても、誠実に対処していただく事を改めて強く要望しました。

4月よりソーラーパネルの設置工事も始まります。安全に事業が進む事を願います。

(令和2年12月10日視察)



ソーラーパーク全体



視察風景



建設中の2号調整池



頂上付近からの町内の風景

一般質問

貞森 義和 議員



○会計年度任用職員の基本給改正について

度会町は通達通り、会計年度任用職員にボーナス26ヶ月を支給したが、基本給を17万2千8千円から14万8千7千円に下げ、月額にすると14万4千円から12万3千9百円とした。この、月2万円程度のカット分はいつ、どのように回復させるのか見解を問う。

町長答弁

昨年度までの制度においては、町の水準によって時給単価を千2百円と定め運用をまいりました。が、度会町の臨時職員の賃金が比較的財政状況のよい北勢地域の水準をも上回っているということ。回数ご指摘を受け、町民のかたからもご意見を頂戴した経緯もございました。これまでの給与水準等をふまえて総合的に判断を行い、ゼロベースから新たな制度設計を行った次第でございます。本町の会計年度任用職員の給与水準が他市町と比較しても著しく高い、低いはございませんのでご理解をお願いしたいと思います。

○有害鳥獣の駆除について

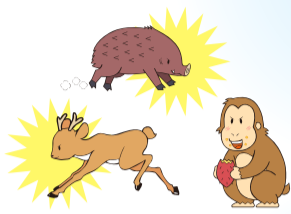
有害鳥獣を捕獲した場合、1頭、1匹につき、いくらの予算が計上されているのか。

今年度は何頭として算定しているのか。

町内における猟師の数は増えているのか、減っているのか。減っている場合どのような手をうたれるのか。

町長答弁

単価についてはですが、イノシシ、ニホンジカの成獣1万2千円・幼獣7千円、ニホンザルの成獣1万8千円・幼獣1万2千円、小動物7千円、カワウ4千円、カラス類が千円となります。



本年度、イノシシ439頭、ニホンジカ547頭、ニホンザル27頭を現在、捕獲しております。予算が不足する場合は、補正予算を上程し対応させていただきます。

猟友会会員は減少傾向ではありますが若い猟師も少しずつ加入していただいております。現在55名が会員となっております。今後も次世代に継承していく体制づくりを検討します。

若宮 淳也 議員



○これからの宮りバー度会パークのあり方について

遊具を体力づくりや健康のために使用するのには有意義なものです。さらに、子どもたちのために特徴的な大型複合遊具を導入してはどうでしょうか。



公園の価値をさらに高めると同時に、今後の運営のあり方として、駐車場一部の有料化を検討してはどうでしょうか。

町長答弁

現在、コンビネーション遊具など32基を設置しております。ご質問の子ども体力・健康づくりの視点からの遊具は第2チビッコ広場に設置の健康器具や岩のぼり遊具が該当します。また、第1チビッコ広場の木製総合遊具も該当します。現在の設備状況・浸水の可能性を考慮すると、これ以上の遊具導入は考えておりません。

また、駐車場一部有料化も町民の憩いの場であり、多くの町民が訪れることなどから考えておりません。しかし、防犯対策の面からは防犯カメラの性能アップ、台数を増やすなど対策を講じていきたいと考えております。

○町長の公約の進捗状況について

この1年間の振り返りも含めて、町長が選挙時

に掲げられた公約がどのように進捗しているのか伺います。

町長答弁

就任から1年半が経過し道半ばの施策もございしますが、大きく分けた四つの取り組みを報告します。一つ目の『子どもたちが輝くまちづくり』について、幼少期、保育所から英語に触れてもらい併せて次年度にはコミュニケーションロボットペーパーを導入し、英語力をたかめます。小中児童にはタブレット端末の整備や電子黒板の設置を進めています。

二つ目の『高齢者が元気なまちづくり』では、三重交通の路線バスと併せて町営バスとの運行で医療・買い物困難者を支援します。

三つ目の『安心して暮らせるまちづくり』では、主に道路インフラ整備を進め危険個所の対応、冠水回避など県と協力協議していくことになっております。

最後の『地域の産業が発展するまちづくり』では、獣害対策の報償単価増額をして対策強化に努めます。また、今年度からは地場産品の創出にと薬用植物の試験栽培を開始し薬草の検討を進めているところです。少量でも出荷できることを目指して栽培面積を増やしていきたいと考えています。

長谷川 多一 議員



○災害に強い町づくりについて

基本的方向

- 1. タイムラインの策定についての考え方は
2. 一時避難所開設マニュアル策定の進捗状況は
3. 停電の長期化防止対策について
一番困るのは、長期化による生活影響ですが、当町は森林が多く倒木による停電のリスクが高いと考えますが、危険木の伐採計画などについて考え方を伺います。
4. 必要資材の確保体制づくりについて

災害が発生し避難が長引いた場合、コロナ対策、衛生対策でいろいろ資材が必要になります。事前準備や企業との協定など必要と考えますが、お考えをお聞かせください。

5. 関連する制度の整備について

避難保険…加入についての考えは。
災害受援体制の整備…整備に関する考えは。

町長答弁

災害対策本部設置から運営におけるタイムラインについては、風水害関連はすでに策定し、運用しております。

一時避難所開設については、簡易なもの作成を進めておりますが過去の状況等も勘案した上で、誰がみても分かりやすいものを作成し来年度自主防災会議にて雛形をお示ししたいと考えております。

停電の長期化防止対策として、県、中部電力と連携して危険木の伐採を計画しております。

避難時に必要となる品目は十分備蓄していると考えております。不測事態にあつては県及び災害時応援協定にて体制を整えております。今後必要となる協定については締結を進めていきたいと考えております。

全国町村会災害対策費用保険制度については、保険料に対する補填の試算が難しく未加入となっております。今後、近隣市町の考えを聴取し加入を検討します。

編集後記

コロナ禍で一層の感染予防対策と、緊張感を持って町議会も12月の定例会を開会致しました。感染症対応と度会ソーラーパークの進捗状況をご報告と写真でわかりやすくお伝え出来たかと思っております。町議会では町民皆様の声をいただきまして、今後もより良い度会町を目指してまいります。

